

経営比較分析表（令和元年度決算）

長野県地方独立行政法人長野県立病院機構 信州医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	25	対象	ド透I未訓	救臨感輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	23,670	非該当	10:1	

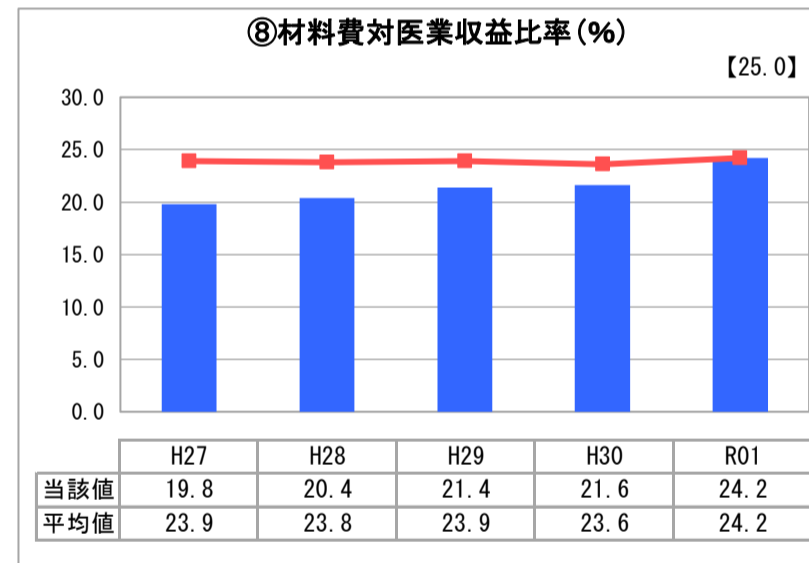
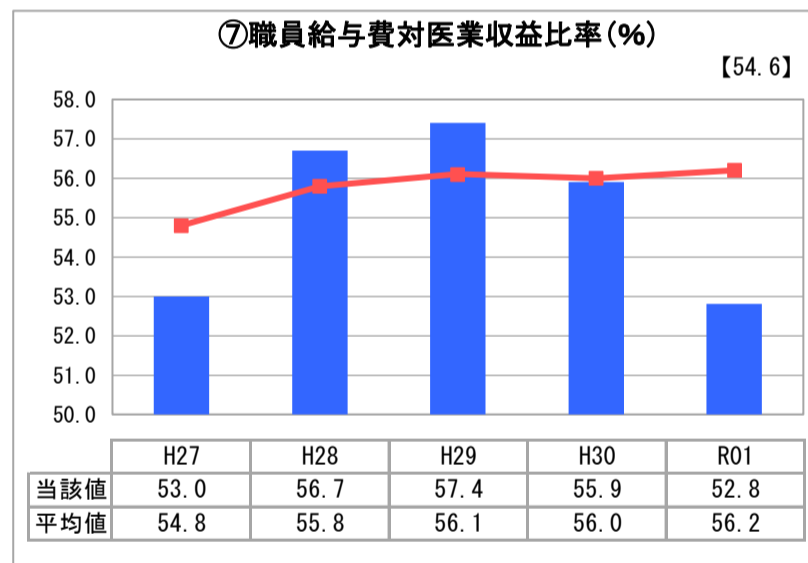
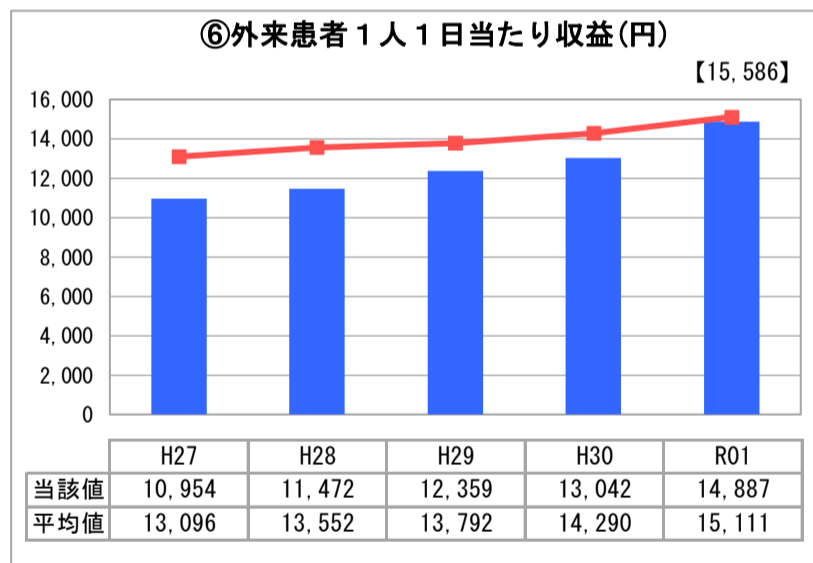
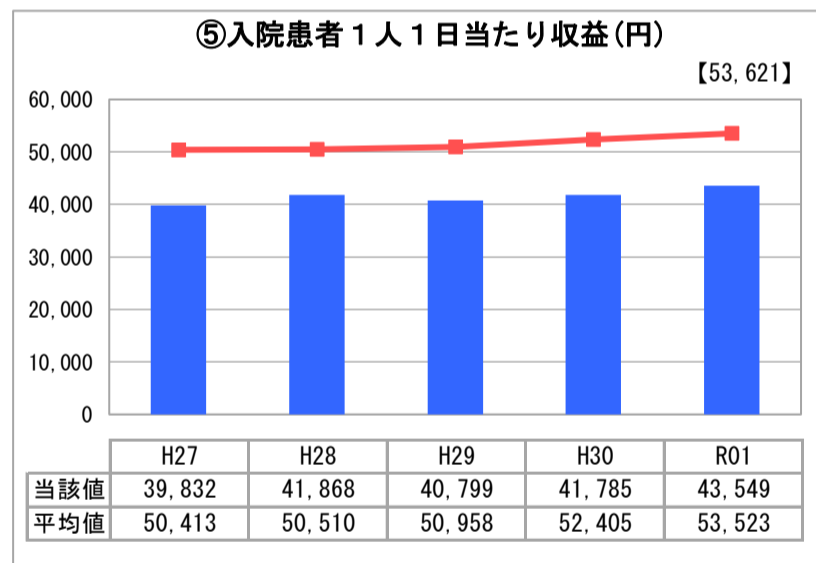
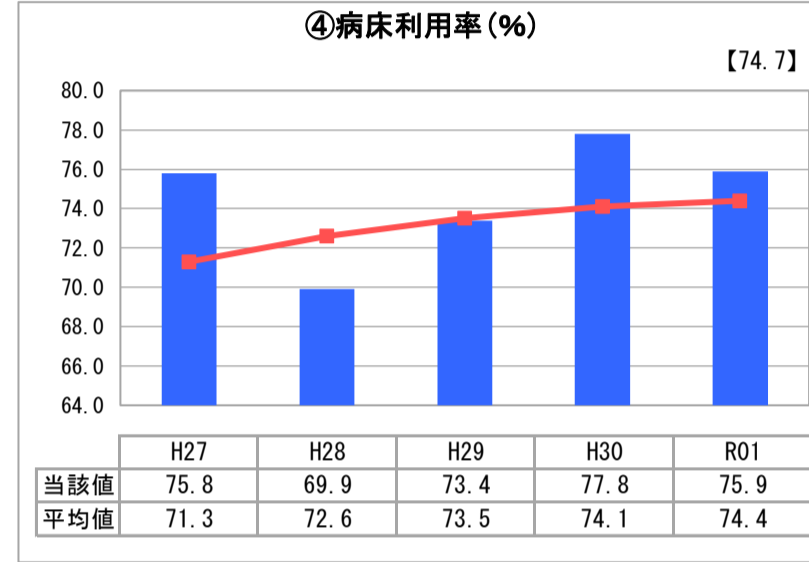
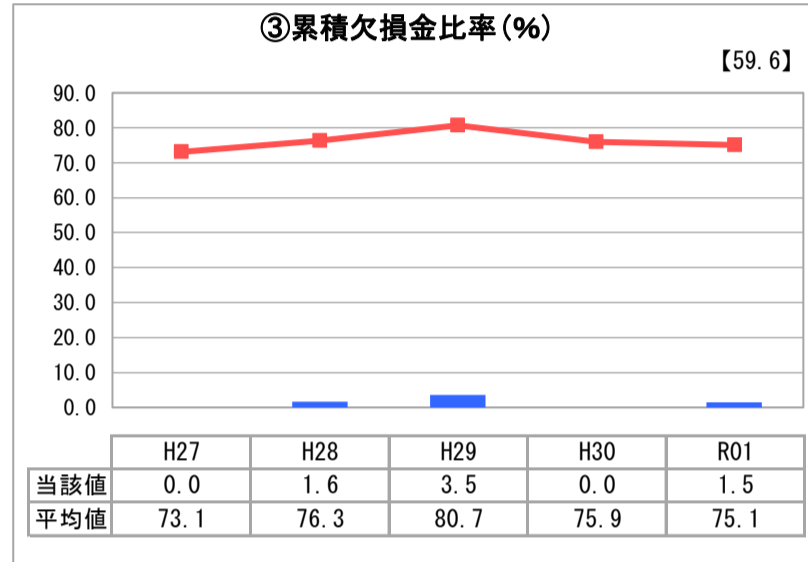
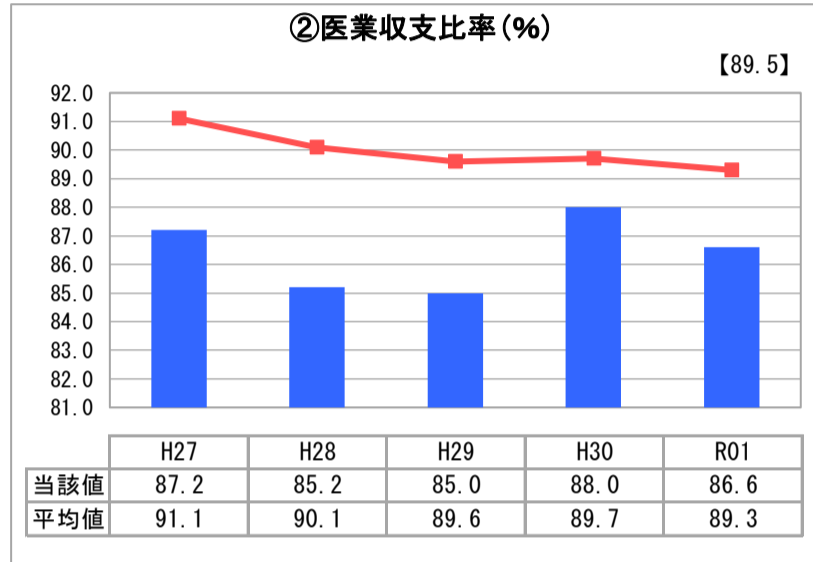
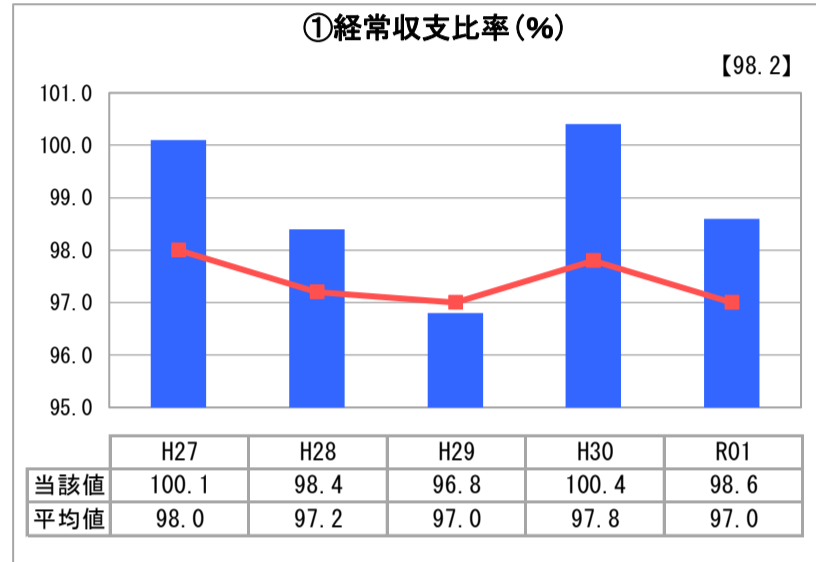
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

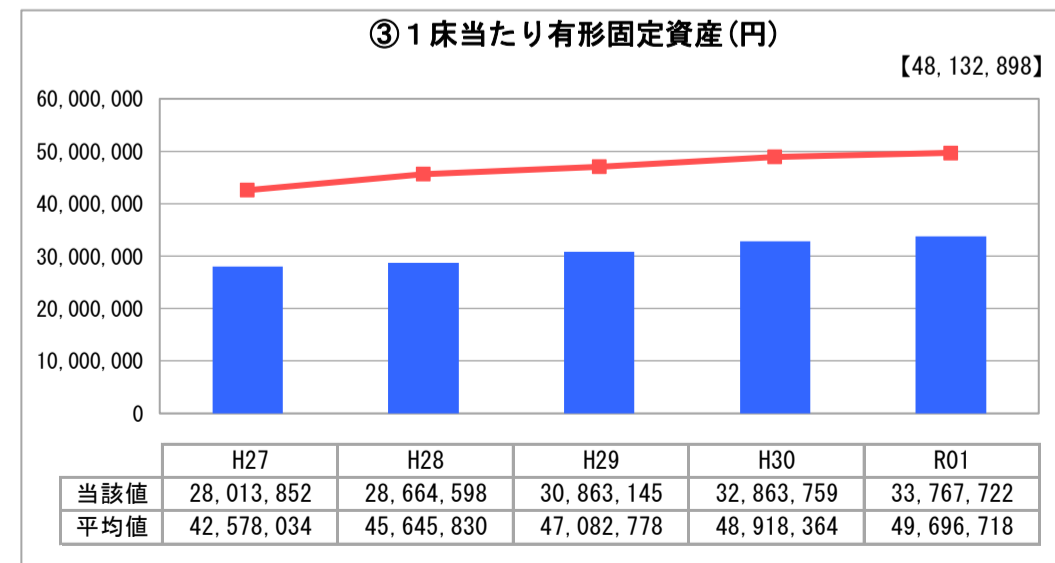
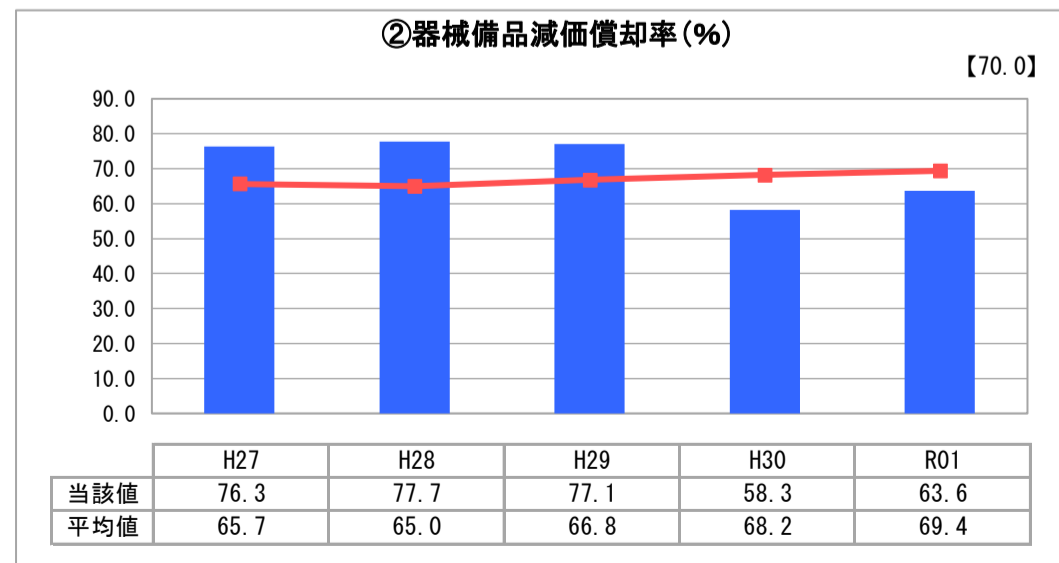
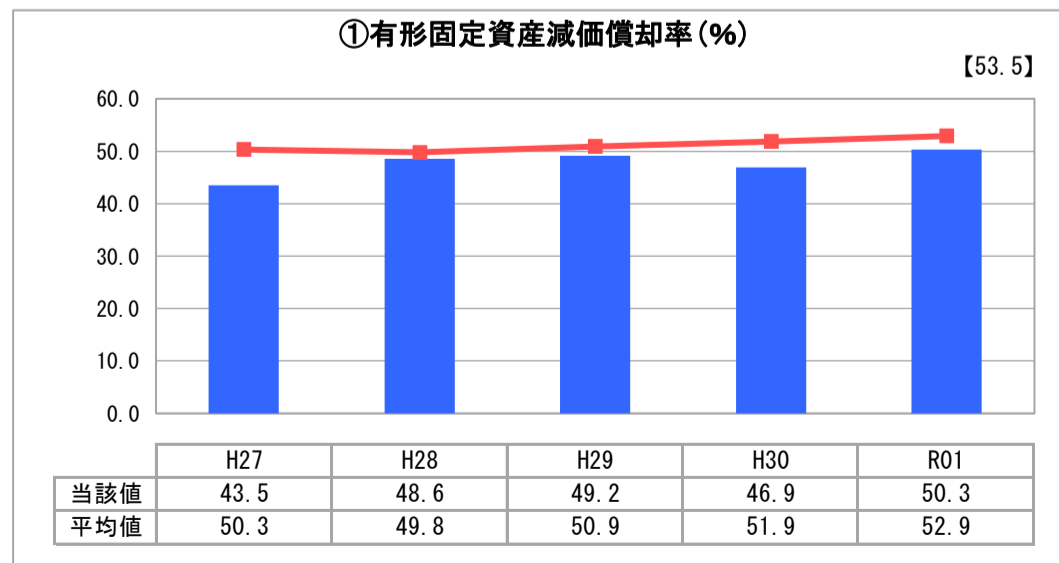
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
292	-	24
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	320
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
264	-	264

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	平成22年度	-

I 地域において担っている役割

当院は、須高地域（須高町・小布施町・高山村）の中核病院としての役割及び県内唯一の第一種感染症指定医療機関、結核指定医療機関、エイズ治療中核拠点病院としての責務を担っている。
内視鏡センターや専門外来等を設け、地域の保健・医療・福祉機関との連携のもと多面的な診療機能を発揮している。
また、地域包括ケア病棟を有し、地域医療機関や介護施設等との連携を図り、地域包括ケアシステムの中核的役割を果たしている。
さらに、人材育成研修機能として、スキルラボを活用したシミュレーション研修や自治医科大学卒業医師などの臨床研修病院としての機能も果たしている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・令和元年度は、①経常収支比率、②医業収支比率ともに前年度を下回った。
・④病床利用率は、2月以降新型コロナウイルス感染症受入体制の整備、住民の受診控えの影響を受け、入院患者数が減少したことにより前年度と比較して減少した。
・⑦職員給与費対医業収益比率は、退職者の増加により大きく減少、⑧材料費対医業収益比率は、高額材料を使用した手術件数の増加による医療材料費用の増加、外来化学療法及び血液内科での治療件数増加による高額薬剤使用の増加に伴い、薬品費が伸びたため、前年度を上回る比率となった。

2. 老朽化の状況について

減価償却費は、電子カルテ更新に伴い対前年度比で増加した。また、建物建設から18年が経過し、多くの施設設備や医療機器において経年劣化が進んでおり、故障や修理が増加している。
今後、年数の経過と共にさらに老朽化が進行し、更新が必要な施設設備や医療機器の増加及び更新費用の増大が見込まれるが、施設運営及び診療継続に必要な不可欠であるため、中長期的な更新計画を策定し、緊急度、優先度を精査した更新投資を行っていく必要がある。

全体総括

新型コロナウイルス感染症の影響による様々な課題に対処するとともに、引き続き地域の医療ニーズに応じた診療体制の充実を図り、医療の質の向上に努めるとともに、安定した患者の確保、病床利用率の向上、高い診療単価の維持による収益増加と費用節減を全職員で行い、経営改善を図る。

また、施設設備・医療機器は今後さらに老朽化が進行し、更新時期が重なることが考えられる。診療機能を維持していくため、設備・機器の状態を把握し、緊急度、優先度の精査を行い、費用を標準化した更新計画を策定し、整備を行っていく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。